

# 県外派遣審判員報告書

作成日 31年 2月 3日

大会名	第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会 九州ブロック大会		会場	宮崎県都市 早水公園体育文化センター	
期間	平成31年2月2日～3日		報告者	坂元 孝浩	
スケジュール					
期日	内容			場所	
2月2日	8:30	開講式・講義		同会場、審判控室	
	9:00	実技研修・MTG		同会場別室MTGルーム	
2月3日	13:30	男子決勝ハーフタイムに閉講式		同会場、審判控室	
レクチャー・審判会議の内容					
<p>第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会 九州ブロック予選                  講師：日本社会人連盟指導担当：堀内 純 氏                  講師：日本社会人連盟指導担当：北沢 岳夫 氏                  3POベーシックについて。トップリーグでのPGCの取り組みについて。ディスカッション。                  坂元、初瀬は第2ゲーム担当で、研修途中で退席。                  本県、鳥羽瀬氏の講義内容をご参照ください。</p>					
女子1回戦	割り当て	OMガス(沖縄県1位)	クルー	C・C	西村 かおり(熊本A)
		ストレッチ(長崎県2位)		U2	竹下 輝一郎(宮崎B)
<p>○ゲーム前(PGC)                  ガイドライン、メカニクス、スタッツの確認(ハンドシグナル・2Pvs3P・ファールの数の確認)、クロック管理、TO管理、ベンチ管理、OOBの協力・確認、映像確認、チーム・キーマンなどについて持っている情報とBasicな部分の確認。                  現在、県内で取り組んでいる3POに関するものをさらにBasicな物にする為に、しっかりとチーフへ報告し確認をしました。</p> <p>○ゲームの実際                  ゲーム全体としては、両チームともクリーンにゲームを進めて頂けたので、特に大きなトラブルはありませんでした。                  3人の協力という点で、ファールの確認、クロックの確認等進めていけました。</p> <p>○MTG(クルーMTG)主任 西村 かおり氏(A級)                  クルー間でローテーションのタイミング、トリガー、クローズダウン、ローテーション、スキランザペイント、フィニッシュのフェーズに関してもう少しローテーションを起こして良い場面があったのではないかと。トレイル・センターがローテーションをすると考えている場面があるとすると、ローテーションに気が引かれ長くプレイを捉える事が出来なくなるリスクにも繋がってしまう。                  リバウンドに関してもう少し記録を付けて良いシチュエーションがあった。センターが生命線という意識を強く持ち、判定に積極的に参加することへもこれからチャレンジしてみると良い。</p>					
男子2回戦	割り当て	浦上自動車(長崎県1位)	クルー	U1	潮平 朝一郎(沖縄B)
		HAWKS(福岡県2位)		U2	徳丸 昂(熊本B)
<p>○ゲーム前(PGC)                  ガイドライン、メカニクス、スタッツの確認(ハンドシグナル・2Pvs3P・ファールの数の確認)、クロック管理、TO管理、プレイヤー・ベンチ管理、OOBの協力・確認、映像確認、チーム・キーマンなどについて持っている情報を共有。                  なお、当人同士のチャレンジやクルーワークに関してもお互いの確認として行っていきました。九州でも有数の強豪チームであり、プレイヤーとのコミュニケーションの方法やノイズの収集、声を使いゲームをリードしていく事が必要であると確認をしました。</p> <p>○ゲームの実際                  ゲームの入りはどちらのクルー間でバランス良くテンポセッティングできました。ガイドラインとは別に判定に対して、選手がアピールしてくるような場面もありました。簡単な説明にもアジャストしてくれていた選手からアピールというより不満がプレイに出始めた頃に、アンスポの記録やフェイクに対してオフィシャルワーニングも2レフリーで行うなど、クルーワークとしても協力して行えました。ゲーム中盤から終盤に対して、素直にコールに対して手をあげるプレイとアピールが明確に別れるように現場を包むようになり、ゲームではなくレフリーに意識が向けられている場面が続いてしまったと感じていました。選手に言わせ過ぎたのでしっかりと対応すべきだったと反省しています。クロックについてはTOの高校生がアイコンタクトとハンドシグナル(リセット、メインタイマーの修正)など確認してくれて大きなトラブルはなかったと思います。</p> <p>○MTG(クルーMTG) クルーMTG+古後 宏和(福岡県A級)※声かけて協力いただく。</p> <p>メカ、クルーワーク、クロック管理に関して、クルーワークとしてクロックの管理、2Pvs3P、チームファールの確認積極的なローテーションなどに対してはチャレンジできた。プレイヤー・ベンチに対して毅然とした対応が必要であった。マージナルに対する判定と記録する判定とのプレイの理解をさらに深めなくてはならない。</p>					

男子3位決定戦	割り当て	Magic(宮崎1位)	クルー	C・C	古後 宏和(福岡A)
		Red Thunders(鹿児島2位)		U2	倉掛 啓輔(宮崎B)
<p>○ゲーム前(PGC)  ガイドライン、メカニクス、ローテーションのフェイズ、OOBの確認、2Pvs3P、バックコートへのセンターの協力。チームの特徴、キーマン。全国大会への出場権は獲得されたチーム同士のカードであること。</p> <p>○ゲームの実際  ゲームはどちらも3Pシュートがよく入る構成のゲームとなり、DFもクリーンな印象でゲームに入りました。ポイントとなるインサイドとハイポスト付近のシュートをどのように守るか、ゾーンディフェンスに対してのドライブや外へのキックアウトなど、2Pvs3Pの確認訂正など協力して行う事が出来ました。  3人の協力という点で、ファールの確認、クロックの確認等進めていけました。</p> <p>○MTG(クルーMTG)主任 古後 宏和 氏(A級)</p> <p>細かい部分であるが、シュートキャンセル後のスローインによる再開の場所の徹底。積極的にローテーションにチャレンジしても良い場面があったと思うので、今後さらにチャレンジしましょう。2Pvs3Pの訂正やショットクロックなど、協力して行えた。大きなトラブルがなく終了して良かった。</p>					
全体を通しての感想					
<p>社会人連盟として第1回全日本選手権大会のブロック予選である事。JSB講師2名による3POのベーシックについて講義を受け、県内で研修してきた事、しっかり理解出来ているのか個人的にチャレンジする目的を持ち望んだ大会でした。オンザコートでチャレンジして行く事、クルーチーフとしてゲームに望む事。プレゲームカンファレンスでいつもと違うメンバー・環境で、いかに共通理解を図りゲームをクリーンな物にできるかPPTや映像を使用して時間をかけてカンファレンスを実践しました。ゲームの実際はクルーワークとして手応えを感じた部分、選手とのコミュニケーションなどトライ、さらにプレイの理解を深めなくてはならないと感じた部分を痛感しました。今回の派遣を通じて、今後の課題を明確にし、さらに向上心を持ち続け、県内のメンバーと共に研鑽を積んでいきたいと考えます。  九州社会人連盟会長、ブロック審判長、開催県である宮崎県バスケットボール協会審判長及び宮崎県協会の皆様には大変お世話になりました。派遣に際しまして、本県審判長および審判員への感謝を綴り、本大会派遣報告とさせていただきます。ありがとうございました。</p>					